

環境委員会

委員一覧 (20名)

委員長	徳永	エリ (立憲)	尾辻	秀久 (自民)	宮崎	勝 (公明)
理事	滝沢	求 (自民)	関口	昌一 (自民)	柳田	稔 (民主)
理事	三木	亨 (自民)	二之湯	智 (自民)	山下	芳生 (共産)
理事	青木	愛 (立憲)	松山	政司 (自民)	寺田	静 (無)
理事	清水	貴之 (維新)	芝	博一 (立憲)	橋本	聖子 (無)
	石井	準一 (自民)	那谷屋	正義 (立憲)	平山	佐知子 (無)
	猪口	邦子 (自民)	新妻	秀規 (公明)		(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第208回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出2件及び衆議院提出1件（環境委員長提出）の合計3件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願4種類33件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律案は、特定外来生物による生態系等に係る被害を防止する対策を強化するため、国と地方公共団体の役割分担の見直し等による防除体制の強化、特定外来生物のうち緊急に対処を要するものに係る措置の新設、特定外来生物の一部についてその飼養の状況等に鑑み規制を適用除外とする規定の整備等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、ヒアリ対策の現状と要緊急対処特定外来生物に係る措置の実効性、特定外来生物の一部について適用除外とする規制の見通し、防除における各主体の連携体制の在り方等について質疑が行われ、採決の結果、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案は、我が国における脱炭素社会の実現に向けた対策の強化を図るため、温室効果ガスの排出の量の削減等を行う事業活動に対し資金供給その他の支援を行うことを目的とする株式会社脱炭素化支援機構に関し、その設立、機関、業務の範囲等を定める等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、参考人から意見を聴取するとともに、脱炭素化支援機構の組織及び業務運営の在り方、地域の脱炭素化に向けた人材の確保及び育成に係る支援策、脱炭素先行地域拡大に向けた取組等について質疑が行われ、採決の結果、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

石綿による健康被害の救済に関する法律の一部を改正する法律案は、石綿による健康被害を受けた者及びその遺族に対する救済の充実を図るため、特別遺族弔慰金等及び特別遺族給付金の請求期限の延長並びに特別遺族給付金の対象者に係る死亡時期の延長を行おうとするものである。

委員会においては、請求期限の延長期間を10年とした理由、石綿に起因する疾病の治療・研究への支援に石綿健康被害救済基金を活用することの是非、特別遺族給付金の全ての支給対象者への個別通知の必要性等について質疑が行われ、採決の結果、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

〔国政調査等〕

3月3日、環境行政等の基本施策について山口国務大臣から所信を聴くとともに、令和4年度環境省予算及び環境保全経費の概要について務台環境副大臣から、公害等調整委員会の業務等について荒井公害等調整委員会委員長から、原子力規制委員会の業務について更田原子力規制委員会委員長からそれぞれ説明を聴いた。

3月16日、予算委員会から委嘱された令和4年度一般会計予算、同特別会計予算及び同政府関係機関予算（総務省所管（公害等調整委員会）及び環境省所管）について審査を行い、廃棄物処理の広域化が困難な場合の循環型社会形成推進交付金の支給要件の在り方、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金の予算規模の妥当性に関する環境大臣の認識、今後のエコチル調査の展開に向けた環境大臣の決意、栄養塩類管理計画策定に当たって必要とされる国と関係府県との連携の在り方、水俣病被害者救済特措法に定める健康調査を早急に実施し全ての水俣病被害者の救済につなげる必要性、2050年までの脱炭素社会の実現に向けた住宅・建築分野の温室効果ガス削減目標、ワーケーションを目的とした国立公園利用者数及び今後の目標等について質疑を行った。

3月24日、環境行政等の基本施策に関する件、公害等調整委員会の業務等に関する件及び原子力規制委員会の業務に関する件について調査を行い、COP26の成果についての環境大臣による包括的な報告、炭素税を含めたカーボンプライシングのポリシーミックスの方向性、国連環境総会における海洋プラスチック汚染に関する決議の採択の意義及び今後の国際約束に向けた取組、エネルギー情勢が不安定な中で原子力発電のウエートを高めることの重要性、使用済太陽光パネルのリユース及びリサイクルの進め方、COP26において石炭火力発電がCO₂削減のための中心的なターゲットとされたことに対する環境大臣の認識、余剰食品の寄附を促すために食品事故等の発生に対する免責制度を設けることへの環境大臣の見解、電力の安定供給確保の必要性に対する環境大臣の認識等について質疑を行った。

4月28日、公害等調整委員会における公害紛争処理の期間短縮に向けた取組、脱炭素化の推進と電力の安定供給に向けた取組、自動販売機リサイクルボックスへの異物混入問題、国立公園におけるワーケーション推進のための環境整備、大阪府摂津市におけるPF₆O₄Aの健康影響等の実態調査の必要性、動物愛護管理法から見た犬の断尾・断耳等の考え方、アニマルセラピーにおける保護犬等の活用等について質疑を行った。

6月10日、今後の環境教育の推進に向けた取組、君津市の産業廃棄物最終処分場問題、プラスチック資源循環法の施行状況及びプラスチックの削減に向けた課題、水俣病の被害者の救済についての環境大臣の認識、公害行政における予防原則の考え方、廃ペットボトルの回収・リサイクルに係る制度の在り方等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和4年3月3日(木) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。
- 環境行政等の基本施策に関する件について山口国務大臣から所信を聴いた。
- 令和4年度環境省予算及び環境保全経費の概要に関する件について務台環境副大臣から説明を聴いた。
- 公害等調整委員会の業務等に関する件について荒井公害等調整委員会委員長から説明を聴いた。
- 原子力規制委員会の業務に関する件について更田原子力規制委員会委員長から説明を聴いた。

○令和4年3月16日(水) (第2回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和四年度一般会計予算(衆議院送付)
令和四年度特別会計予算(衆議院送付)
令和四年度政府関係機関予算(衆議院送付)
(総務省所管(公害等調整委員会)及び環境省所管)について山口環境大臣、大岡環境副大臣、穂坂環境大臣政務官、更田原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

三木亨君(自民)、青木愛君(立憲)、宮崎勝君(公明)、清水貴之君(維新)、市田忠義君(共産)、寺田静君(無)、平山佐知子君(無)

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和4年3月24日(木) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 環境行政等の基本施策に関する件、公害等調整委員会の業務等に関する件及び原子力規制委員会の業務に関する件について山口国務大臣、務台環境副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

猪口邦子君(自民)、青木愛君(立憲)、宮崎勝君(公明)、柳田稔君(民主)、清水貴之君(維新)、山下芳生君(共産)、寺田静君(無)、平山佐知子君(無)

○令和4年4月28日(木) (第4回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 公害等調整委員会における公害紛争処理の期間短縮に向けた取組に関する件、脱炭素化の推進と電力の安定供給に向けた取組に関する件、自動販売機リサイクルボックスへの異物混入問題に関する件、国立公園におけるワーケーション推進のための環境整備等に関する件、大阪府摂津市におけるPFOAの健康影響等の実態調査の必要性に関する件、動物愛護管理法から見た犬の断尾、断耳等の考え方に関する件、アニマルセラピーにおける保護犬等の活用に関する件等について山口環境大臣、吉川経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

那谷屋正義君(立憲)、宮崎勝君(公明)、清水貴之君(維新)、山下芳生君(共産)、寺田静君(無)、平山佐知子君(無)

- 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第46

号) (衆議院送付) について山口環境大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和4年5月10日(火) (第5回)

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第46号) (衆議院送付) について山口環境大臣、中川環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

[質疑者]

比嘉奈津美君(自民)、青木愛君(立憲)、宮崎勝君(公明)、清水貴之君(維新)、山下芳生君(共産)、寺田静君(無)、平山佐知子君(無)

(閣法第46号)

賛成会派 自民、立憲、公明、民主、維新、共産、無(寺田静君、橋本聖子君、平山佐知子君)
反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和4年5月17日(火) (第6回)

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第25号) (衆議院送付) について山口環境大臣から趣旨説明を聴いた後、同大臣、大岡環境副大臣、中川環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

熊谷裕人君(立憲)、柳田稔君(民主)、清水貴之君(維新)、山下芳生君(共産)、寺田静君(無)、平山佐知子君(無)、滝沢求君(自民)、宮崎勝君(公明)

また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○令和4年5月19日(木) (第7回)

○地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第25号) (衆議院送付) について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

真庭市長 太田昇君

特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所主任研究員

名古屋大学大学院環境学研究科博士後期課程 山下紀明君

特定非営利活動法人気候ネットワーク東京事務所長 桃井貴子君

[質疑者]

三木亨君(自民)、青木愛君(立憲)、宮崎勝君(公明)、柳田稔君(民主)、清水貴之君(維新)、山下芳生君(共産)、寺田静君(無)、平山佐知子君(無)

○令和4年5月24日(火) (第8回)

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第25号) (衆議院送付) について山口環境大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

[質疑者]

猪口邦子君(自民)、青木愛君(立憲)、柳田稔君(民主)、清水貴之君(維新)、山下芳生君(共産)、寺田静君(無)、平山佐知子君(無)

(閣法第25号)

賛成会派 自民、立憲、公明、民主、維新、共産、無(寺田静君、橋本聖子君、平山佐知子君)

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和4年6月10日(金) (第9回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 石綿による健康被害の救済に関する法律の一部を改正する法律案(衆第37号)(衆議院提出)について提出者衆議院環境委員長関芳弘君から趣旨説明を聴き、衆議院環境委員長代理渡辺博道君、同近藤昭一君、山口環境大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

[質疑者]

青木愛君(立憲)、山下芳生君(共産)

(衆第37号)

賛成会派 自民、立憲、公明、民主、維新、共産、無(寺田静君、橋本聖子君、平山佐知子君)

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

- 今後の環境教育の推進に向けた取組に関する件、君津市の産業廃棄物最終処分場問題に関する件、プラスチック資源循環法の施行状況及びプラスチックの削減に向けた課題に関する件、水俣病の被害者の救済に関する件、公害行政における予防原則の考え方に関する件、廃ペットボトルの回収・リサイクルに係る制度の在り方に関する件等について山口環境大臣、池田文部科学副大臣、穂坂環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

那谷屋正義君(立憲)、青木愛君(立憲)、清水貴之君(維新)、山下芳生君(共産)、寺田静君(無)、平山佐知子君(無)

○令和4年6月15日(水) (第10回)

- 請願第50号外32件を審査した。
- 環境及び公害問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。